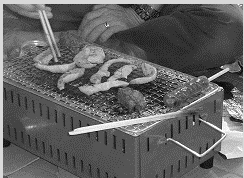


バーベキュー in ピアBandai



みんなで
集まろう!
みんなで
楽しもう!

2019年7月6日(土)
12時00分より
「ピアBandai」
パワーテント「ピアプラザ」

減益予想を覆し過去最高の決算実現も回答は横ばい

2019年度夏季手当 基準内賃金の2.91ヶ月分を回答

中央本部は6月11日に「判断した」「世間水準と比較しても決して低くはない」「再考はしない」として、2.91ヶ月分を最終回答とする姿勢に終始しました。

組合側は席上妥結せず、持ち帰り検討することを通告し、団体交渉を終えました。

第2回団体交渉 JR労働者の努力に応える回答を

2019年度夏季手当に関する申し入れの第2回団体交渉は6月6日に行いました。

経営側が示した「損益の推移」「景気動向指数」「外国為替相場」「原油価格」「金利動向」「消費者物価指数」「完全失業率と有効求人倍率の推移」「生産年齢人口の推移」「期末手当支給月数の推移」等の資料を基に議論を行いました。

経営側は過去最高となり、インバウンドや繁忙期の好業績に結び付けた社員の努力に対し感謝を申し上げるとした経営側に対し本部交渉団は、夏季手当は2018年度期末決算に基づく一時金であり、成果に対する配分を強く求めることと訴えました。

経営側は「一時金」としては認識していることと認め、直近の業

「経営側の回答」

1. 基準額 基準額は、基準内賃金の2.91ヶ月分とする。
2. 支給日 令和元年6月28日(金)以降、準備でき次第とする。

経営側は、営業利益の水準は大きな要素であり、世間動向は無視できず、民間と比べても支給額は低くないとしました。その上で3ヶ月超の回答はしないこととしました。

組合側は、物価の上昇や消費税10%への増税等があるなかで、安定した安心できる生活費が必要であると主張し、社員と家族の幸福の実現のために満額支給で応えるべきと強く訴えました。

本部申10号団体交渉日程決定! 車両製造事業に関する申し入れ

6月19日(水)10時00分より

「経営の第4の柱」として、車両製造事業が総合車両製作所に移管され4年以上が経過しました。

車両製造に携わる組合員と社員が仕事に対する安心感と将来展望を実感し、安全かつ高品質の車両提供ができる車両製造事業の実現をめざし、組合員に加えて社員からの声を集めた中で製作所協議会

営業収益は過去最高となり、インバウンドや繁忙期の好業績に結び付けた社員の努力に対し感謝を申し上げるとした経営側に対し本部交渉団は、夏季手当は2018年度期末決算に基づく一時金であり、成果に対する配分を強く求めることと訴えました。

経営側は「一時金」としては認識していることと認め、直近の業

鉄道事業は費用のコントロールが難しく、しっかりと見ていく必要があるとする経営側に対して組合側は、必要な箇所に必要なコストをかけているのか、営業費用の使い方がわかりづらいと主張、機械化等が良い場合もあり、物件費を人件費にまわらせるのではないかと訴えました。

また、民間は右肩上がり



新幹線統括本部に申し入れを提出!

上越新幹線で発生した輸送障害に関する申し入れ

4月28日、上越新幹線・上毛高原駅・浦佐駅間で停電が発生し、東京駅・新潟駅間の上下線で運転を見合わせました。運転再開までに4時間ほどを要し、ご利用されるお客さまに多大なご迷惑をおかけしました。

この輸送障害の最中に、運転士の取り扱いを定めた「新幹線運転士運転取扱」を新幹線統括本部に申し行いました。

これからの安全・安定輸送を担う現場第一線の社員・労働者の目線で取り組みを進めていきます。

(新潟新幹線運輸区分会 投稿)

新潟支部を通じて新潟新幹線運輸区分会からの要請を受けた新潟地本は中央本部に上申を行い、中央本部は6月6日に新幹

(※以下、内容は割愛)